

教員の公募について

北陸先端科学技術大学院大学
遠隔教育研究イノベーションセンター長
長谷川 忍

北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、「科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する」ことを理念とし、グローバルな社会への貢献、社会や産業界のリーダーの養成を目標に掲げています。自然環境・文化的雰囲気は優れ、研究・教育活動に専念できる石川県能美市に所在し、世界的な大学院大学を目指して活発に活動を展開しています。

北陸先端科学技術大学院大学の理念

北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

北陸先端科学技術大学院大学の目標

- ・ 先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性ととも、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。
- ・ 世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。
- ・ 海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。

このたび、下記の要領で教員を公募いたします。研究、教育について高いアクティビティを有し、学生の指導にも熱意を持つ方の積極的な応募を期待しています。

記

1. 公募人員： 遠隔教育研究イノベーションセンター 助教又は講師 1名
令和8年4月1日の時点で
 - ・ 博士の学位取得後5年未満の方（令和3年4月2日以降に学位を取得した方）は助教
 - ・ 博士の学位取得後5年以上の方（令和3年4月1日以前に学位を取得した方）は講師として採用します。
2. 専門分野及び関連する主な職務：
業務：先端的な教育・研究 DX 環境構築のための将来構想・仕様策定・導入・運用に関わる業務

研究：教育システム情報学、教育・研究 DX 基盤の構築・運用に関する研究

(関連教員 長谷川 忍教授または宇多 仁准教授と協働して実施)

長谷川教授 HP <https://www.jaist.ac.jp/laboratory/his/hasegawa.html>

宇多准教授 HP <https://www.jaist.ac.jp/laboratory/ngdi/uda.html>

教育：

(助教の場合)

- － 情報科学に関連する科目の講義の一部を担当
- － 関連教員 長谷川 忍教授または宇多 仁准教授と協働して、研究室内の博士前期・後期課程学生、また他研究室の副テーマ学生を指導

(講師の場合)

- － 情報科学に関連する科目の講義の担当
- － 博士前期課程の主テーマ指導担当学生の研究指導、学修指導、就職指導等、他研究室学生に対する副テーマ指導

その他（講師の場合）：

- － 大学業務・管理運営への貢献、社会貢献

本学が求める職位別の人材像、職位ごとの職責及び職務内容等について、下記のサイトをご参照ください。

<https://www.jaist.ac.jp/top/data/jinzai.pdf>

3. 応募資格：

採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意をもって本学における教育や研究、特に AI in Education や Learning Analytics、高効率 AI、エッジ AI などの AI 駆動型研究を推進できる方。センター運営に積極的に関わっていただけの方。日本語、英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方。本学では、教員の選考に際して機会均等、多様性が重要と考え、女性や外国人の採用を積極的に進めています。本学の育児・介護期間の両立支援に対する取組みについては、下記のサイトをご参照ください。

<https://www.jaist.ac.jp/top/employment/wlb.html>

4. 待遇：

(1) 勤務形態

専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当）

休日：土日曜、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日

※ただし、講義、入学試験（講師の場合）、大学院説明会等による休日勤務を命ぜられることがあります。

(2) 給与・手当

年俸制を適用。

職位		基本給	業績連動給
教授	Ⅲ	1,068 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度の業績評価及び大学全体の総間接経費等収入に応じた額 ・各教員の間接経費等獲得実績に応じた加算あり ・令和6年度業績連動給支給実績：836万円（最高額）
	Ⅱ	1,008 万円	
	Ⅰ	972 万円	
准教授		828 万円	
講師		756 万円	
助教		612 万円	

※いずれも年額。

本学に新たに採用された教授は、教授Ⅰを適用する。採用後の業績評価等に基づき、教授Ⅱ又はⅢが適用される。

諸手当は、退職手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、超過勤務手当及び休日給（実状に応じて支給、国家公務員に準じた取扱い）、その他入試特別手当の適用あり。

(3) 社会保険

文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険、労災保険及び雇用保険に加入

5. 着任時期：令和8年4月1日

6. 任期：

助教の場合：5年。当該任期内に再任（3年）に係る審査、及び一定の要件の下で講師（5年）への昇任に係る審査を受けることが可能です。

講師の場合：5年（再任なし）

7. 試用期間：

あり（採用日より6ヶ月間）

8. 応募書類（（4）「研究業績数一覧」はExcelファイルで作成し、（4）以外は1つの電子ファイル（PDFファイル又はWordファイル）として作成の上、提出）：

*作成上の注意事項に従ってご作成ください。

(1) 履歴書（写真添付）

(2) 教育活動について

センター業務に係る実務経験等についても記述

(3) 研究業績について

「学術論文（①査読付国際論文誌、②査読付国内論文誌、③査読付国際会議）」、「国際会議招待講演」、「著書」、「研究費獲得実績」、「特許（出願・公開・登録）」、「産学連携実績（講師の場合）」、「センター業務に係る実務経験等」、「その他」について

(4) 研究業績数一覧について

前項目「(3) 研究業績」で挙げた学術論文等の数について

Excel ファイル：<https://www.jaist.ac.jp/top/data/list-achievement-research.xlsx>

(5) その他の活動について

学内（社内）貢献、学会への貢献、社会貢献、国際貢献等や受賞など、特に重要と思われる事項について

(6) 教育活動及び研究活動に係る今後の計画・抱負等

(助教の場合)

① 自身のキャリアパスや学生の研究指導に関する考え方を含む、任期中の研究計画及び抱負、達成目標、及びそれらの見通しについて

② センター業務に係る抱負について

(講師の場合)

① 「教育（人材育成）の基本方針」、その実現に向かった抱負、講義・訓練等（科目等）、学生の研究指導、学修指導において取り組む内容、目標、工夫について

② 採用後5年間の研究計画（国際連携・産学連携活動を含む）、抱負、達成目標、及びそれらの見通しについて

③ センター業務に係る抱負について

④ その他

学生獲得・就職支援活動など大学の業務及び管理運営に関する抱負について

(7) 応募者本人の連絡先（郵便宛先とEメールアドレス）

(8) 意見を伺える方3名の氏名・所属と連絡先（Eメールアドレス）

(9) 安全保障輸出管理に係る特定類型該当性の自己申告書（別紙様式を提出してください。）

Word ファイル：<https://www.jaist.ac.jp/top/data/self-declaration-f-je.docx>

9. 応募締切：

令和7年9月16日（火） 17時（日本時間）

10. 選考方法：

これまでの研究、教育に関する業績、今後の計画や抱負に基づき選考します。研究業績については、論文数だけでなく主要な研究内容について評価します。内外の評価も参考にします。実務的貢献についても評価します。また、必要に応じ照会者の意見も参考にします。

書類選考で選ばれた候補者に面接を行います。面接は上記応募資格に挙げている項目について日本語または英語で行います。別途、提出いただいた資料に関する説明や講演などをお願いすることがあります。

応募の秘密を厳守します。

1 1. 選考スケジュール：

令和7年10月中旬

書類選考

令和7年11月17日（月）又は令和7年12月1日（月）

面接

面接に係る旅費・宿泊費等は応募者の負担とします。

1 2. 書類提出先：

北陸先端科学技術大学院大学 遠隔教育研究イノベーションセンター 長谷川 忍 宛

Eメールにより提出してください（提出先：cider-director@ml.jaist.ac.jp）。

なお、Eメールの「Subject」は、「教員応募書類（遠隔センター・助教又は講師）」としてください。応募書類受付後、本学からメールを返信しますので、ご確認願います。

1 3. 問合せ先：

遠隔教育研究イノベーションセンター担当（共通事務管理課）

Tel: 0761-51-1148

e-mail: cider-director@ml.jaist.ac.jp

1 4. 募集者：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

1 5. その他：

本学の助教は、学部のある大学と違い、学生実験や入学試験監督などの業務がなく、研究に専念できるという利点があります。

また、共通研究機器が利用しやすい環境のため、研究活動をスピーディかつ柔軟に進めることができます。

女性教員の育児期間（3年を限度）に研究補助員を配置する等の仕事と子育ての両立を支援しています。平成27年7月には、厚生労働省石川労働局から子育てサポート企業として認定され、くるみんマークを取得しています。



受動喫煙防止の措置として、キャンパス内を禁煙としています。